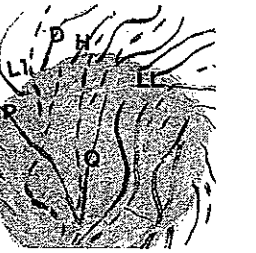


尾張版



HARUWA-AKEBONO-B 田中 茂生 行動美術協会

ニュース、情報は下記へ 社会部 052-231-1650/5919 Eメール shakai@chunichi.co.jp

- 一宮 総局 〒491-0851 一宮市大江1-13-13 0586-72-4545 Fax72-5035 津島通信部 0567-28-2157 Fax28-2158 稲沢通信部 0587-32-8800 Fax23-8035 江南通信部 0587-54-4001 Fax54-9622 蟹江通信部 0567-95-3022 Fax95-3000 春日井支局 0568-81-2036 Fax81-2797 犬山通信局 0568-61-2612 Fax61-2613 小牧通信局 0568-72-1177 Fax72-6530

中日新聞へのご意見は 読者センターへ 052-221-0800 Fax221-0819 Eメール center@chunichi.co.jp



江南市門前山小5 井野 辰巳君 僕は五年生でいろんなことをしました。例えば、前年足踏びを一回以上も上でできるように練習しました。後ろ足踏びも六十回以上できました。後ろも、今は、今までも、疲れた...

過払い金で滞納税回収を

複数の金融業者から支払い能力を超えてお金を借り、返せなくなった多重債務者。家計が崩壊し、本人や家族の生活に影響が出るだけでなく、税金の滞納や生活保護受給世帯の増加など、行政にとっても大きな問題となっている。一宮市では、昨年十一月に多重債務を抱えた元職員による横領が発覚したこともあり、多重債務問題をめぐって新たな動きが広がっている。

一宮 多重債務に新対策



相談者の話し真剣な表情で聞き入るクレサラまの会のメンバー。一宮市役所。

「多重債務者が貸付業者に返済した際の過払い金を差し押さえて、滞納している税金の支払いに充ててはどうか」。九日に開かれた一宮市議会三月定例会の一般質問で、倉石義夫氏(一宮市民クラブ)が市側に提案した。 過払い金とは、利息制限法で定められている金利の上限(貸出額により年15-20%)を超えて返済した差額のこと。最近では、貸付業者に請求すれば裁判で返還が認められる場合がほとんどとなっている。 税金は自己破産しても支払い義務がなくなるという。過払い金の返還に行政が乗り出せば、滞納税を回収できるだけでなく、多重債務者の生活再建にもつながる。

生活再建にも光「一石二鳥」

建にもつながる「一石二鳥」というわけだ。 だが、課題も多い。市側は返済という意識が強い一宮市のような地方都市では、返済に苦む多重債務者でも、調べてみる。訴訟のために費用を捻出する必要がある。返済に苦む多重債務者でも、調べてみる。訴訟のために費用を捻出する必要がある。返済に苦む多重債務者でも、調べてみる。訴訟のために費用を捻出する必要がある。

返還交渉に課題 市「検討」と弱腰

多重債務者の相談窓口を整備する動きも進んでいる。多重債務から立ち直った人や司法書士らでつくるNPO法人(特定非営利活動法人)「クレサラま」によると、同事務所では〇二年九月から〇五年九月までの三年間に回収した過払い金から、十三人分、計千二百万円以上の滞納税を依頼者に代わって支払ったと報告している。

「一宮」コーヒー飲んで

志民連(いちのみや)は、真清田神社で毎年五月に開く「杜(もり)」の宮市「なごみ祭」を企画し、地域の活性化につながるまちづくり支援を進めている。

自ブレンド普及へ協会

真清田神社で毎年五月に開く「杜(もり)」の宮市「なごみ祭」を企画し、地域の活性化につながるまちづくり支援を進めている。一宮市は、先般販売してきた協会設立をきっかけに、さらに扱う店舗を増やし、商品の開発や広報にも力を入れていく。会員になれば「いちのみや」の名称とマークを使用することができる。 二十六日午後六時から、同市真清田一丁目の一宮スポーツ文化センターで設立総会を開く。詳細は、志民連(いちのみや)のホームページ(www.ichimiyaku.com)や電話(090-2226-9108)へ。



中国古代文字の個展を開く佐藤圭さん。十四山村榎場新田で

佐藤さん16日から個展 古代文字 躍動的に

佐藤さんは学生時代に中国古代文字と出会った。中国の古代文字を書く表現活動をして十四

佐藤さんは学生時代に中国古代文字と出会った。中国の古代文字と出会った。

一宮市文化センター 中国の古代文字を書く表現活動をして十四

以来三十七年間、甲と語る。入場無料。水曜休。問い合わせは同シヨウルーム(電話052-2003)0820へ。 古代文字を現代空間に「と題した今回の個展では、「虎」の字をタイナミックに書き上げた縦二・三層、横二層の大作の掛け軸や、さまざまな文字を書いた陶皿、竹炭、御影石などの作品約五十点を展示する。 絵画的要素もある古代文字の魅力について佐藤さんは「どんな時代にも変わらない、人の原点や本質が集約されている」と語っている。 事前予約制だが、相談が無料という点もあって毎回十人前後が訪れる。相談員が家族構成やいつから何社に借金があるかなどを聞き出し、自己破産、調停、民事再生手続きなどの整理方法を助言している。 五社から二百万円の借金があり悩んでいたという同市のアルバイト女性(28)は「わずかな費用で借金を整理する方法もあって教えられた。今は前向きにやっています」と思えるようになった。 安心した表情を見せる。 同会の村瀬尚仁副理事長(38)は「借金は相談すれば解決できる。ただ専ら自治体は少なく、ある程度知られていない」とも指摘している。 行政が積極的に相談窓口の周知徹底を図らなければならない。 同会の相談会は岩倉市公民館や大口町健康文化センターでも定期的に関心している。問い合わせは同会(電話0800-366-7654)へ。

波 蕨 高 春 不 前 村 た 約 に ら ち 階 公 室 一 中 分 屋 いた の ろ 当 2 4 一 県 一 30 休 北 30 3 科 一 9 キ 一 5 診 報 一 午 口 全 11 休